

### 林政審議会施策部会委員から出された主な意見

平成21年10月30日（金曜日）に開催された林政審議会施策部会において、平成21年度森林・林業白書の構成・内容等について意見交換が行われ、委員から以下のような意見が出された。

- 特集章については、造林が中心だった時代から伐採して利用の時代へと大転換していることを説明した上で、木材に求められるものが「質」から「量」に変わる中、林業の生産性が追いついていないことを示すべき。
- 欧州において林業の生産性が高いのは、24時間操業に耐えうる技術や機械・加工業が成立していることが背景にあり、我が国と比較する際には、こういう観点も考慮すべき。
- 生産性向上も重要だが、山に利益を還元するうえでは、出口となる木材需要の拡大が大事。建築士や消費者等のエンドユーザーに対して、木材利用の良さを伝えることが重要。
- 実施した施策内容や事実だけではなく、その結果や林野庁としての評価、更には今後の政策につながるようなヒントも記述すべき。